

エコアクション21

2016年度 環境活動レポート

(2016年6月～2017年5月)

発行 2017年9月1日(改訂2017年10月30日)



三凌商事

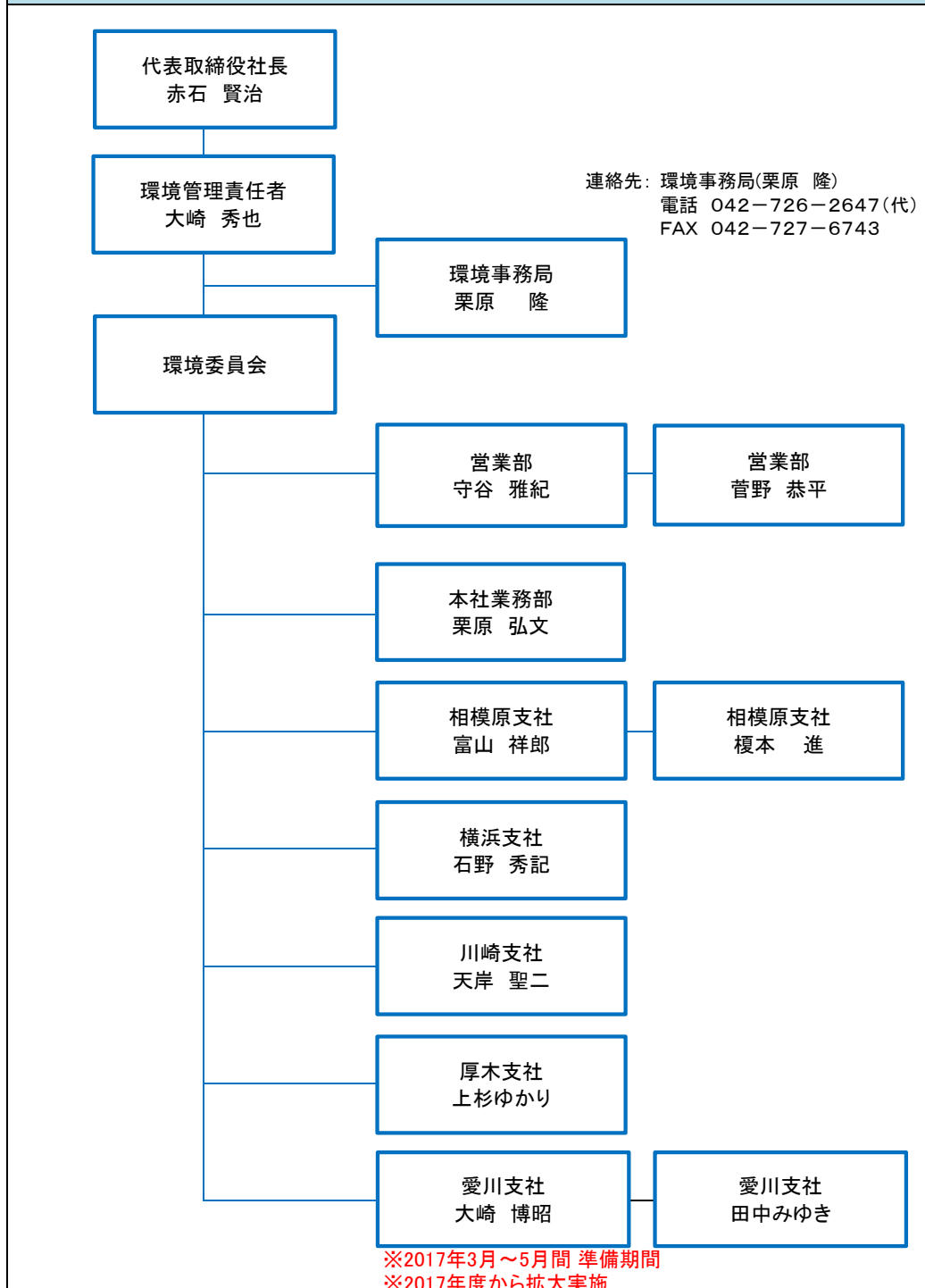
組織の概要	
名称	株式会社 三凌商事
設立	1975年(昭和50年)9月10日
資本金	4,000万円
代表	代表取締役社長 赤石 賢治

対象事業所	
事業所	本社
所在地	東京都町田市木曽東1-34-6 電話 042-726-2647(代) FAX 042-727-6743
床面積	340㎡
従業員	77名
事業所	横浜支社
所在地	神奈川県横浜市緑区長津田町4397-4 電話 045-985-3751 FAX 045-985-3730
床面積	24㎡
従業員	16名
事業所	川崎支社
所在地	神奈川県川崎市麻生区下麻生2-12-25 電話 044-981-3877 FAX 044-981-3880
床面積	114㎡
従業員	15名
事業所	相模原支社
所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台1-14-13 電話 042-774-3231 FAX 042-773-7388
床面積	278㎡
従業員	55名
事業所	厚木支社
所在地	神奈川県厚木市旭町1-21-8 電話 046-228-0472 FAX 046-285-3336
床面積	60㎡
従業員	11名
事業所	愛川支社 第1工場(三凌脱水・溶融プラント)
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6766-1 電話 046-286-9561 FAX 046-285-3336
床面積	871㎡
従業員	4名
事業所	愛川支社 第2工場(三凌愛川リサイクルセンター)
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6903-1 電話 046-285-2871 FAX 046-285-3336
床面積	3,366㎡
従業員	4名
事業所	愛川支社 第3工場(三凌グリーンテクノセンター)
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6767-1 電話 046-285-1126 FAX 046-285-3336
床面積	785㎡
従業員	3名
事業所	愛川支社 第4工場(三凌テクノプラザ)
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津6897-2 電話 046-284-5566 FAX 046-285-7700
床面積	3,682㎡
従業員	12名

※愛川支社 第1工場から第4工場までの拡大は、20172017年3月～5月までを準備期間とする。

環境管理責任者氏名並び各担当者					
役割	所属	役職	氏名	役職	氏名
環境管理責任者	総務部	次長	大崎 秀也		
事務局担当者	総務部	係長	栗原 隆		
環境各担当者	営業部	課長	守谷 雅紀	係長	菅野 恭平
	本社業務部	係長	栗原 弘文	係長	高埜 智信
	横浜支社	部長	石野 秀記		
	川崎支社	次長	天岸 聖二		
	相模原支社	係長	富山 祥郎	係長	榎本 進
	厚木支社	次長	上杉ゆかり		
	愛川支社	課長	大崎 博昭		田中みゆき

エコアクション21 実施体制組織図



事業活動

- ・ 一般廃棄物収集運搬
 - ・ 産業廃棄物収集運搬
 - ・ 販売業
脱臭装置、脱臭剤等の装置及び工業薬品の販売
 - ・ フィールドメンテナンス
道路、側溝、管路、公園等の清掃
 - ・ ビルメンテナンス
ビル清掃全般
- 拡大する愛川支社の事業活動(保有施設)
- ・ 第一工場 産業廃棄物処分量
沈降分離・脱水施設、熔融施設
 - ・ 第二工場 産業廃棄物処分量
堆肥化施設
 - ・ 第三工場 一般廃棄物処分量
粉碎・破砕施設
 - ・ 第四工場 産業廃棄物処分量
機械選別施設、破砕施設、圧縮施設

使用車両

NO	車両形式	最大積載量 (t)	台数	最大積載量 合計(t)
1	機械式収集車(圧縮板式)	2.00	58	116.00
2	機械式収集車(圧縮板式)	2.50	10	25.00
3	機械式収集車(回転板式)	2.00	6	12.00
4	機械式収集車(回転板式)	2.70	5	13.50
5	脱着装置コンテナ車(アーム式)	2.00	2	4.00
6	脱着装置コンテナ車(アーム式)	4.10	10	41.00
7	脱着装置コンテナ車(アーム式)	11.20	6	67.20
8	ダンプ車	2.00	6	12.00
9	ダンプ車	9.90	1	9.90
10	平ボディ	2.00	10	20.00
11	平ボディ	3.00	1	3.00
12	平ボディ(リフト付)	2.00	6	12.00
13	平ボディ(リフト付)	3.00	1	3.00
14	粉粒体運搬車	11.30	3	33.90
15	吸引車(汚泥吸引車)	1.95	1	1.95
16	吸引車(汚泥吸引車)	2.53	2	5.06
17	吸引車(汚泥吸引車)	10.30	2	20.60
18	吸引車(バキューム車)	3.60	2	7.20
19	アルミコンテナ箱車	4.00	1	4.00
20	散水車	3.80	2	7.60
21	高圧洗浄車	1.90	3	5.70
22	路面清掃車	3.90	2	7.80
23	軽トラック車	0.35	2	0.70
24	作業用具運搬車	0.35	3	1.05
25	軽乗用車	-	2	-
26	乗用車	-	26	-
合計			173	434.16

事業の規模

売上高		
年度	全体	愛川支社を除く
2014年度	3,935百万円	3,563百万円
2015年度	3,867百万円	3,442百万円
2016年度	3,843百万円	3,485百万円

※2016年度は、2016年6月～2017年5月となります。

処理量

受託した産業廃棄物の処理量		
年度	産廃(t)	一般廃(t)
2014年度	16,290 t	35,716 t
2015年度	15,413 t	37,472 t
2016年度	14,082 t	37,670 t

※2016年度は、2016年6月～2017年5月となります。

一般廃棄物取得許可一覧表

2017年 9月現在

地区	業種名	自治体名	許可番号	文書番号	許可年月日	許可期限	種類（制限等）
東京都	一般廃棄物 収集運搬	町田市	第21号		2016年4月1日	2018年3月31日	紙類・厨芥類・ 木くず ・繊維くず・ 草・剪定枝 特定家庭用機器廃棄物
	〃	多摩市	26多環ご第6号		平成28年4月1日	平成30年3月31日	事業系一般廃棄物(普通ごみ)
	〃	八王子市	許可第32号		平成28年8月1日	平成30年7月31日	事業系一般廃棄物 (紙くず、木くず、繊維くず、厨芥)
	〃	東村山市	許可第21号		平成28年8月11日	平成30年8月10日	事業系一般廃棄物可燃ごみ
	〃	稲城市	許可一廃第18号		平成28年7月20日	平成30年7月19日	事業系一般廃棄物
	〃	狛江市	許可一廃第18号		平成28年9月1日	平成30年8月31日	厨芥・紙くず
神奈川県	〃	横浜市	横浜市資一指令 第105号		平成28年4月1日	平成30年3月31日	一般廃棄物(ごみ)
	〃	川崎市	許可番号 第0054号		平成28年10月1日	平成30年9月30日	制限:取り扱う一般廃棄物は事業 活動に伴って生じたものに限る。 ※食品廃棄物等の収集運搬は、 川崎市の焼却施設へ搬入する車 両以外の専用車輛で行うものに限 る。
	〃	厚木市	厚木市指令 第119号		平成28年4月1日	平成30年3月31日	ごみ(一般廃棄物)
	〃	相模原市	相許可 第A0036号	相模原指令 (廃指一) 78号	平成28年4月1日	平成30年3月31日	一般廃棄物(ごみ)
	〃	愛川町	第25-8号		平成28年4月1日	平成30年3月31日	一般廃棄物 (生ごみ・紙類・剪定枝・木くず)
	一般廃棄物 処分	愛川町	第27-11号		平成28年3月11日	平成30年3月10日	一般廃棄物 (剪定枝・木くず・草)

産業廃棄物取得許可一覧表

2017年 9月現在

業種名	所轄庁	許可番号	許可年月日	許可期限	品目数	許可品目
産業廃棄物収集運搬業 (保管・積替えを含まない)	東京都	13-00-008292	平成27年2月23日	平成34年2月22日	15	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、 ブ、紙、木、織、動植、金、 ガ、鉱、がれき、ばいじん ※産廃エキスパート認定番号: 2-11-A0030
産業廃棄物収集運搬業 (積替・保管を除く)	神奈川県	01402008292	平成26年9月20日	平成33年9月19日	16	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、 ブ、紙、木、織、動植、ゴム、 金、ガ、鉱、がれき、ばいじ ん (ブ、ガ、がれきは石綿含有 産業廃棄物を含む)
〃	埼玉県	01102008292	平成29年1月24日	平成35年12月25日	12	燃、汚、廃酸、廃ア、ブ、紙、 木、動植、金、ガ、がれき、 ばいじん (ブ、ガ、がれきは石綿含有 産業廃棄物含む)
〃	長野県	2009008292	平成25年9月19日	平成30年9月18日	8	燃、汚、廃油、ブ、紙、木、 金、ガ (ブ、ガは石綿含有産業廃 棄物を含む。 ブ、金、ガは、自動車等破 砕物を除く。)
〃	山梨県	01900008292	平成28年11月29日	平成35年11月28日	12	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、 ブ、紙、木、織、金、ガ、が れき (ブ、ガ、がれきは石 綿含有産業廃棄物を含む)
〃	栃木県	00900008292	平成26年12月16日	平成33年12月15日	3	燃、汚、ばいじん
〃	静岡県	02201008292	平成28年3月22日	平成35年3月21日	1	汚
〃	千葉県	01200008292	平成29年8月9日	平成36年5月30日	16	燃、汚、廃油、廃酸、廃ア、 ブ、紙、木、織、動植、ゴム、 金、ガ、鉱、がれき、ばいじ ん (ブ、ガ、がれきは石綿含有 産業廃棄物を含む。ブ、 金、ガは自動車等破砕物を 除く。)
産業廃棄物処分業	神奈川県	01422008292	平成26年10月20日	平成33年9月19日	9	ア 沈殿分離ー汚(水路、 下水道管渠及び道路側溝 から排出されたものに限る) イ 脱水ー汚(水路、 下水道管渠及び道路側 溝、マンホール、ビルビツ等の 高速洗浄に伴って発生する スラリー状のものに限る) ウ 溶融ーープ(再生可 能なものに限る) エ 堆肥化ー汚、木、動 植、ふん オ 選別ーープ、紙、木、 織、金、ガ、がれき カ 破砕ーー木 キ 圧縮ーープ

※ 青色のセルは優良事業者認定された自治体

三凌愛川リサイクルセンター 第1工場

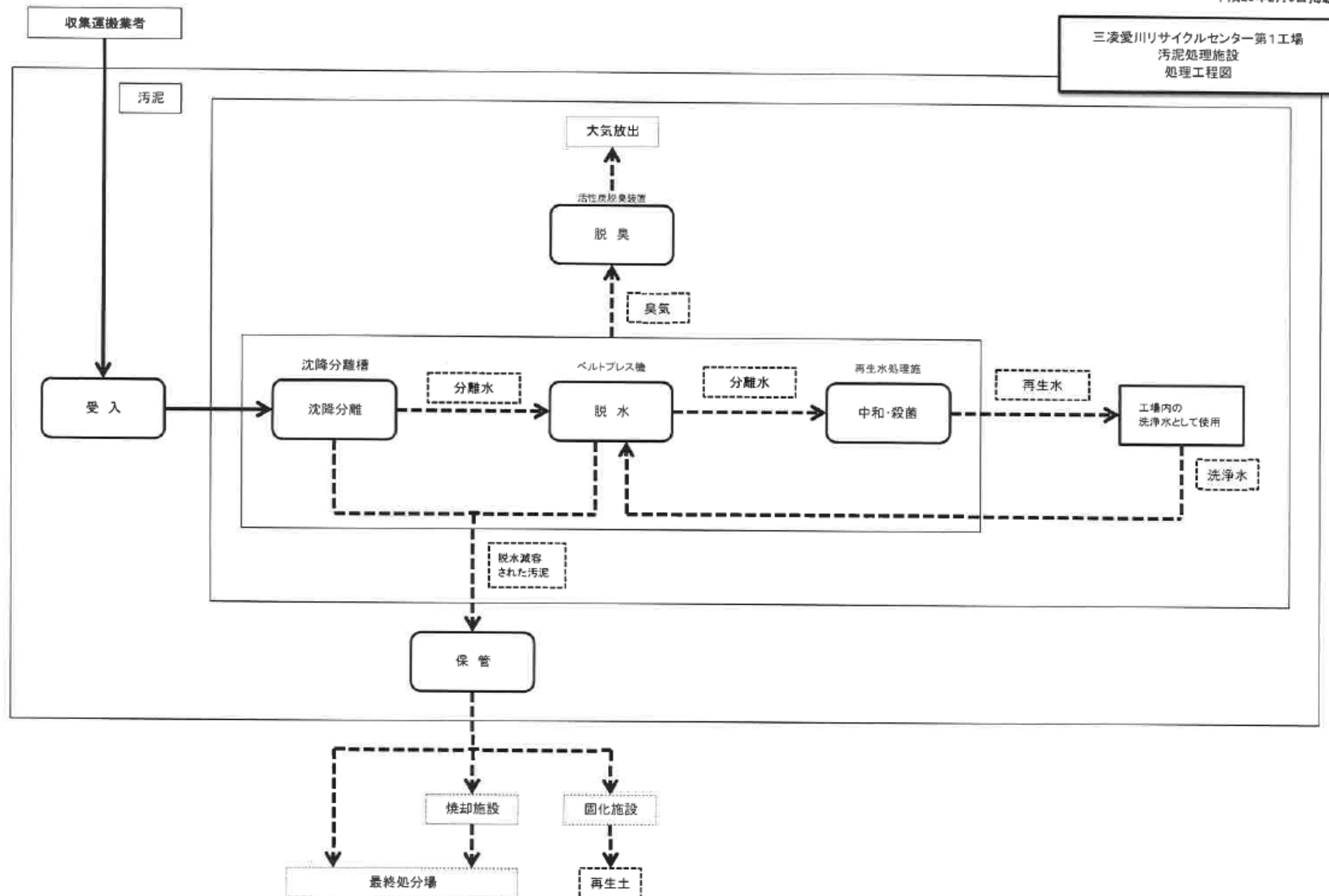
神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6766番1

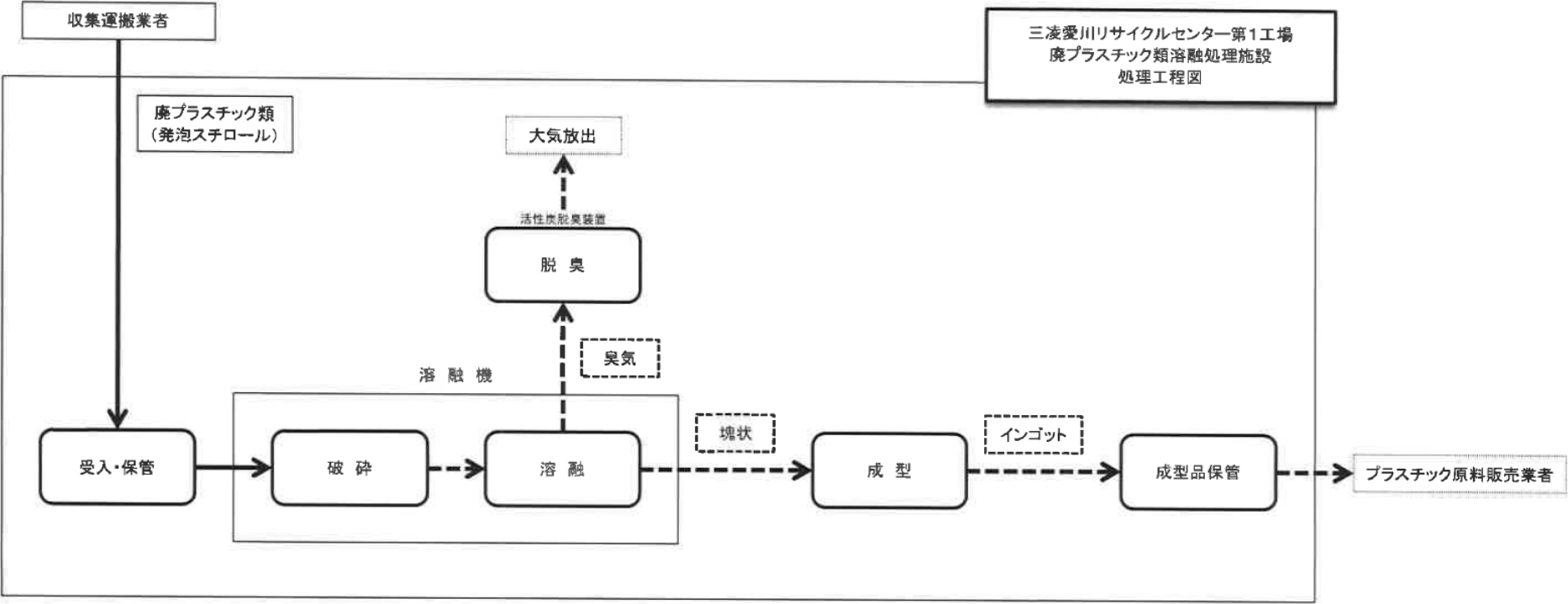
許可番号：産業廃棄物処分業 神奈川県 第0142008292号

施設の種類	沈降分離・脱水施設
処理する産業廃棄物の種類	汚泥
処理能力	沈降分離施設 9m ³ /日(8時間) 脱水施設 6.4m ³ /日(8時間)
処理方法	沈降分離方式 ベルトプレス方式
保管施設	受入汚泥貯留槽 最大保管量 17m ³ 脱水汚泥貯留槽 最大保管量 1m ³ 脱水汚泥保管ピット 保管面積 25m ² 最大保管量 26.25m ³

施設の種類	熔融施設
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
処理能力	1.0t/日(8時間)
処理方法	熔融処理方式
保管施設	廃プラスチック類置き場(屋内) 29m ³ ×2 最大保管量 214m ³ プラスチック成型品置き場(野外) 6m ³ 最大保管量 4.5t 高さ 2m

平成26年2月6日掲載



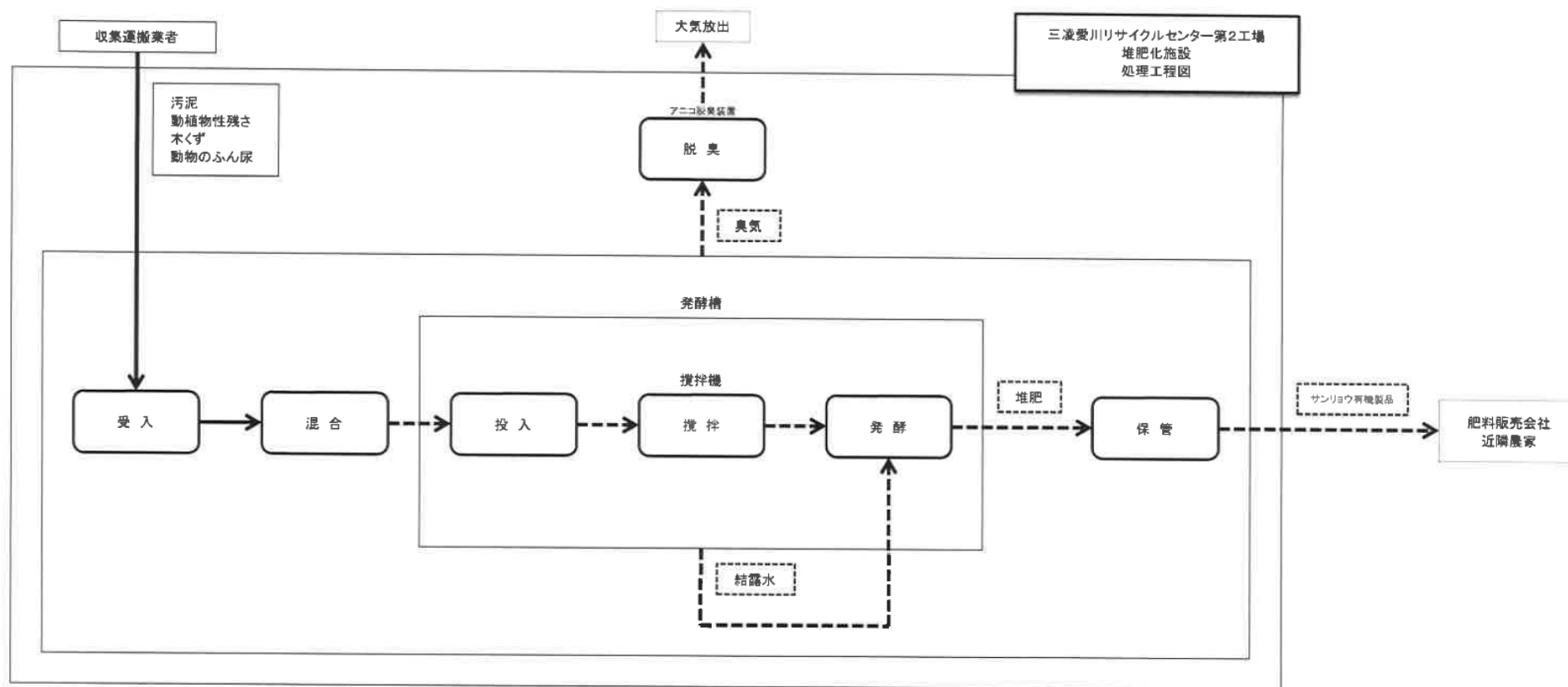


三凌愛川リサイクルセンター 第2工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6903番1、6906番1

許可番号：産業廃棄物処分業 神奈川県 第0142008292号

施設の種類	堆肥化施設					
処理する産業廃棄物の種類	汚泥、木くず、動植物性残さ、動物のふん尿					
処理能力	18.7㎡／日(24時間)					
処理方法	発酵熟成					
保管施設	汚泥・動植物性残さ・動物のふん尿置き場	保管面積	35.75㎡	最大保管量	32.17㎡	
	木くず置き場	フレコンバック80袋	保管面積	49.5㎡	最大保管量	30㎡
	肥料製品置き場		保管面積	328㎡	最大保管量	745㎡

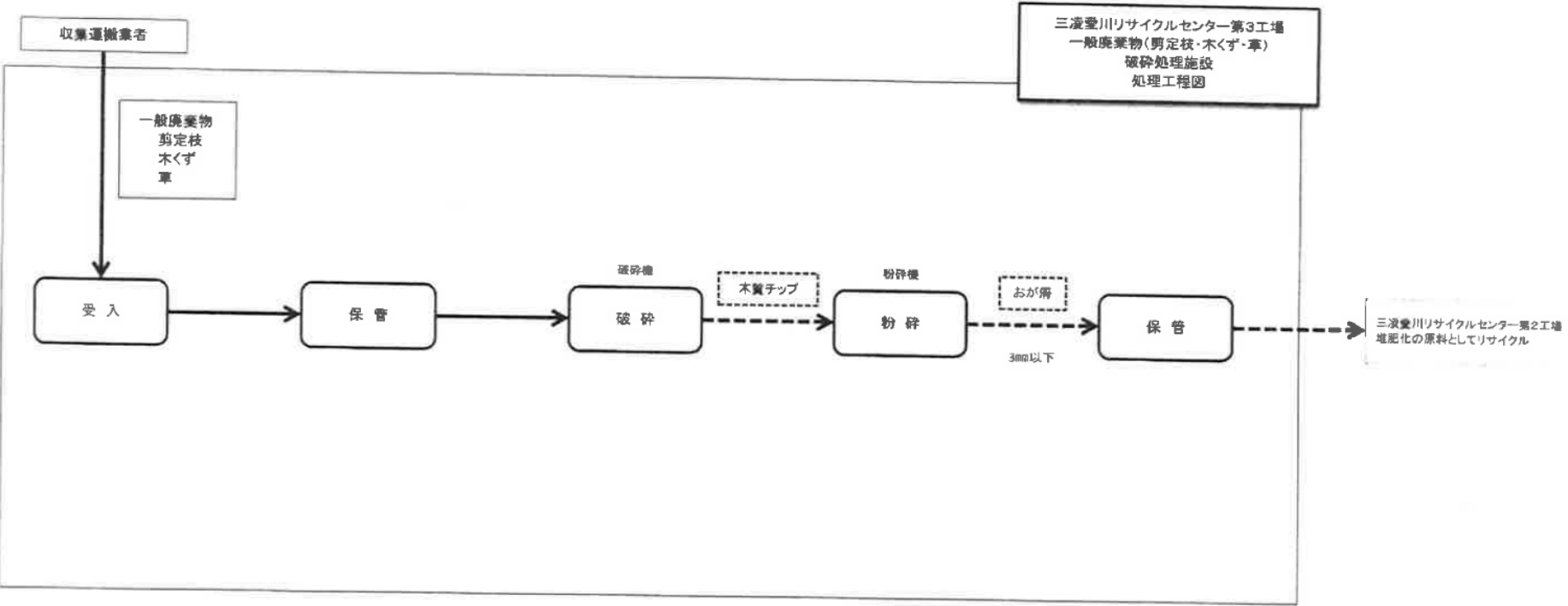


三凌愛川リサイクルセンター 第3工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6767番1及び2

許可番号：一般廃棄物処分業 愛川町 第27-11号

施設の種類	剪定枝・木くず・草 破砕施設
処理する産業廃棄物の種類	剪定枝・木くず・草(一般廃棄物)
処理能力	5t未満／日(8時間)
処理方法	粉碎・破砕



三凌愛川リサイクルセンター 第4工場

神奈川県愛甲郡愛川町中津字大塚下6897番2、6900番2及び3

許可番号：産業廃棄物処分業 神奈川県 第0142008292号

施設の種類	機械選別施設
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類
処理能力	300t/日(8時間)
処理方法	機械選別

施設の種類	破碎施設
処理する産業廃棄物の種類	木くず
処理能力	4.3t/日
処理方法	二軸剪断・引裂式

施設の種類	圧縮施設
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
処理能力	1.26t/日(8時間)
処理方法	手動縦型圧縮減容機

施設の種類	破碎施設
処理する産業廃棄物の種類	廃蛍光管(ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類)
処理能力	3.6t/日(8時間)
処理方法	二軸式破碎

保管施設			
受入廃棄物ピット			
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類			
保管面積		103.28㎡	最大保管量 171㎡ 保管高さ 4m
受入廃蛍光管(ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類)			
保管場所	パレット 4枚×1段積み	保管面積 7.84㎡	最大保管量 6.91㎡
廃プラスチック類	パレット 15枚×2段積み	保管面積 22.04㎡	最大保管量 47.4㎡
廃プラスチック類	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
紙くず	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
木くずピット	保管面積 25.2㎡	最大保管量 25.2㎡	保管高さ 2m
繊維くず	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
金属くず	コンテナ 3基×2段積み	保管面積 11.02㎡	最大保管量 23.58㎡
金属くずピット	保管面積 25.2㎡	最大保管量 25.2㎡	保管高さ 2m
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず			
コンテナ 6基×2段積み		保管面積 22.04㎡	最大保管量 47.16㎡
がれき類ピット	保管面積 22.04㎡	最大保管量 20.93㎡	保管高さ 1.9m
処理残さピット	保管面積 22.04㎡	最大保管量 20.93㎡	保管高さ 1.9m
受入廃蛍光管破碎物(ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、金属くず、廃プラスチック類)			
保管場所	蓋付ドラム缶詰 48缶×1段積み	保管面積 20㎡	最大保管量 5.7t

エコアクション21 環境方針

環境理念

株式会社三菱商事は、事業活動が地球温暖化に関わっていることを認識し、社員全員で地域社会と地球環境保全に対する取り組みを積極的に推進し、環境負荷の低減に努めます。

環境方針

株式会社三菱商事は、全ての事業活動を通じ環境保全を重要課題として取り組み、以下の行動指針を定め、その実現に取り組みます。

行動指針

1. 省資源・省エネルギーに努めます。
 - 再生紙・裏紙の使用・グリーン購入
 - 電力・水の使用量を削減
 - エコドライブの推進による使用燃料・二酸化炭素排出量の削減
 - 自社中間処理施設における受託廃棄物のリサイクル率向上
 - 自社中間処理施設で使用する化学物質使用量の削減
2. 環境関連法規の遵守に誓約します。
 - 環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定の遵守
3. 環境意識の向上を図ります。
 - 社員の環境教育を定期的を実施
 - 地域の環境行事に積極的に参加
4. 継続的環境改善を実施します。
 - 環境目標・行動計画を設定し、環境経営システムの運用と継続的改善を実施

このエコアクション21環境方針を全社員に周知すると共に、一般にも公開します。

2008年6月2日（改訂2017年7月6日）

代表取締役社長 赤石 賢治

2016年度 環境目標と環境活動計画

I 環境目標

1. 中期計画 2017年6月1日～2019年5月31日(3年間)
2. 基準年 2016年6月1日～2017年5月31日(1年間)
3. 目標 2015年度実績に基づき、削減を下表のとおり設定する。

NO	目標値	単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
		%	実績	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	1,897,294	1,859,348	1,803,568	1,731,425	1,644,854
2	総排水量の削減	m ³	2,013	1,973	1,914	1,837	1,745
3	廃棄物の削減	t	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9
拡大に伴い愛川支社の2016年度実績と2017年度以降の目標							
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	—	258,182	維持活動	維持活動	維持活動
2	総排水量の削減	m ³	—	1,048	維持活動	維持活動	維持活動
3	廃棄物の削減	kg	—	487	維持活動	維持活動	維持活動
2000年からISO14001の活動により、削減活動を行っており、当面設備投資等の予定がないため、維持活動とします。							
2017年度は、従来活動(ISO14001の環境マネジメントプログラム)を継続します。							
※共通目標の二酸化炭素排出量の削減、総排水量の削減、廃棄物排出量の削減を推進します。 愛川支社独自の活動として、受け入れ廃棄物の再資源化率の向上を推進します。 2016年度実績再資源化率:第一工場は汚泥及び廃プラスチック類22%。第二工場は100%堆肥化。 第三工場は剪定枝等100%。第四工場は、7品目を受け入れ77%。							

II 環境活動の取組

1. 二酸化炭素排出量の削減(温室効果ガス排出量の削減:電気・車両燃料・ガス)
2. 総排水量の削減(下水道・上水)
3. 廃棄物の削減(事務所内の一般廃棄物・産業廃棄物)
4. グリーン品目の購入(購入率のアップ)

(注) 化学物質使用量については、2017年度から新たに愛川第1工場で汚泥脱水用に使用する薬品名アルミナを使用しますが(年間使用量:47kg)削減に努めます。

III 環境活動の内容

NO	活動項目	活動内容
1	二酸化炭素排出量の削減 (温室効果ガス排出量の削減)	電気
		燃料
	ガス	① 温室(暖房22℃・冷房28℃) ② 昼休み未使用箇所の照明消灯 ③ パソコン未使用時のディスプレイのパワーオフ ④ 退社時の消灯
2	総排水量の削減	水
3	廃棄物の削減	廃棄物
4	グリーン購入	物品等

※ 基準年度:前年度実績とする。

※ 二酸化炭素排出量数値を求め、確認・評価すること。

達成状況及びその計画

- 中長期環境目標と2016年度主要な環境活動計画の内容と達成状況及びその評価
 <2016年 6月 1日 ～ 2017年 5月31日までの数値となります>

二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)

活動項目	排出係数	目標値	実績	達成率(%)
電 気	0.324	36,328	38,698	× 6.5%超過
ガソリン	0.0671	81,696	72,716	○ 11%削減
軽 油	0.0687	1,738,716	1,709,135	○ 1.7%削減
ガ ス	0.0513	2,605	2,864	× 9.9%超過
合 計		1,859,345	1,823,413	○ 1.9%削減

○ 冷暖房の使用量やシャワー室の使用頻度が多くなり電気とガスの目標値より未達となった。

○ ガソリン、軽油とも車両の変動があったが、エコドライブへの推進による効果が現れている。

※ 横浜支社はガス設備なし。厚木支社は電気、ガス等の光熱費は家賃に含まれて算出が不可能です。

総排水量の削減 (m3)

活動項目	目標値	実績	達成率(%)
下水道・上水	1,972	2,273	× 15%超過

○ 駐車場の雪除去や清掃頻度やシャワー頻度が多くなり目標値を上回ってしまった。

※ 横浜支社・厚木支社を除く。

廃棄物の削減 (kg)

活動項目	目標値	実績	達成率(%)
一般廃棄物	1,960	1,958	○ 0.1%削減
産業廃棄物	1,307	1,301	○ 0.5%削減
合 計	3,267	3,259	○ 0.2%削減

○ 廃棄物の持ち込み、出さないの徹底等と分別の強化などが浸透してきている。

総合評価

- 二酸化炭素排出量(kg-CO2)では、電気とガスの使用頻度多く未達となった。
- 総排水量(m3)も同様に使用頻度により目標値を多く上回って未達となった。
- 総括として、更に節電・節水に努めるよう掲示などして徹底させる。
- ※ 愛川支社が急遽エコアクション21に2017年度から拡大ということになりました。
- 従って今期の2016年度は年度途中ということで、2017年3月から5月までを準備期間としました。
- 次年度は今年度目標達成していない項目(電気、ガス、下水道・上水)の目標数値を見直し、愛川支社は受入廃棄物のリサイクル率の向上を目指す。

2017年8月23日

環境管理責任者 大崎 秀也

愛川支社 達成状況及びその計画

- 中長期環境目標と2016年度主要な環境活動計画の内容と達成状況及びその評価
 <2017年 3月 1日 ～ 2017年 5月31日までの数値となります>

二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO₂)

活動項目	排出係数	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
電 気	0.324	75,000	73,026	8,860	46,965	10,551	6,650	○ 2.6%削減
ガソリン	0.0671	40	36	36	未使用	未使用	未使用	○ 10%削減
軽 油	0.0687	500	508	40	70	64	334	× 1.6%超過
ガ ス	0.0513	200	216	未使用	120	未使用	96	× 8%超過
合 計		75,740	73,786	8,936	47,155	10,615	7,080	○ 2.6%削減

総排水量の削減 (m³)

活動項目	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
下水道・上水	370	367	12	205	53	97	○ 0.8%削減

排出者の廃棄物の削減 (kg)

活動項目	目標値	実績	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	達成率(%)
一般廃棄物	60	52	24	16	0	12	○ 13%削減
産業廃棄物	60	60	60	0	0	0	○ 目標クリア
合 計	120	112	84	16	0	12	○ 6.7%削減

受入廃棄物 (t)

活動項目	実績の把握	第1工場	第2工場	第3工場	第4工場	
一般廃棄物	152	非該当	非該当	151.5	非該当	—
産業廃棄物	1539	637.4	425.5	非該当	476.4	—
合 計	1691	637.4	425.5	151.5	476.4	—

責 任 部 署		責 任 部 署 長																			
第1工場		工場長																			
管理 NO	目的	2 0 1 7 年 度		実施項目	2017年度												進捗状況及び確認				備考
		目標	NO		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
1	環境汚染の予防	敷地境界、脱臭排気口での法令基準値以下を維持	1	日常点検及び定期分析(年1回)												9月	12月	3月	6月		
				定期に臭気分析を業者に依頼し、分析を行う																	
				日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理																	
		再生水、除湿水の自主基準値以下を維持	2	日常点検及び定期分析(年1回)												9月	12月	3月	6月		
				定期に水質分析を業者に依頼し、分析を行う																	
				日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理																	
		敷地境界での法令基準値以下を維持	3	日常点検及び定期分析(年1回)												9月	12月	3月	6月		
				定期に騒音分析を業者に依頼し、分析を行う																	
				日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理																	
		井戸水の自主基準値以下を維持	4	日常点検及び定期分析(年1回)												9月	12月	3月	6月		
				定期に水質分析を業者に依頼し、分析を行う																	
				日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理																	
2	省資源・省エネルギー	廃棄物搬入量に対する電気・水道・軽油の使用量の把握(CO2換算)	2	進捗管理												9月	12月	3月	6月		
				CO2排出量搬入量																	
3	再生商品の製造	年間処理汚泥のリサイクル率を15%以上を目指す	1	年間処理汚泥リサイクル率15%												9月	12月	3月	6月		
				汚泥リサイクルできる処分先の検討																	
4	廃棄物の削減	発泡スチロール受入拡大	1	進捗管理												9月	12月	3月	6月		
				発泡スチロール処分単価見直し、営業部へ新規受入拡大依頼																	

[illegible]

管理 NO	目的	2 0 1 7 年 度		実施項目	2017年度											進捗状況及び確認				備考		
		目標	NO		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4						5	
1	環境汚染の予防	敷地境界での法令基準値以下を維持	1	日常点検及び定期分析(年1回)											9月	12月	3月	6月				
				定期に騒音分析を業者に依頼し、分析を行う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				
					☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				
		日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒						
			☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐						
				粉塵の自主基準値以下を維持	2	日常点検及び定期分析(年1回)											9月	12月	3月	6月		
定期に粉塵分析を業者に依頼し、分析を行う	☐					☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				
	☐					☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				
日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理	☒					☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒				
	☒					☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐				
2	省資源・省エネルギー	廃棄物搬入量に対する電気・水道・軽油の使用量の把握(CO2換算)	2	進捗管理											9月	12月	3月	6月				
				CO2排出量搬入量	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒					
				おが屑 900m³/年の製造											9月	12月	3月	6月				
				営業部へ新規拡大の依頼	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒					
				おが屑 900m³/年の製造											9月	12月	3月	6月				
				営業部へ新規拡大の依頼	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒					

環境マネジメントプログラム(2017年度)

責 任 部 署		責 任 部 署 長																						
第4工場		工場長																						
管理 NO	目的	2 0 1 7 年 度		実施項目	2017年度										進捗状況及び確認				備考					
		目標	NO		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						4	5			
1	環境汚染の予防	敷地境界での法令基準値以下を維持	1	日常点検及び定期分析(年1回)														9月	12月	3月	6月			
				定期に騒音分析を業者に依頼し、分析を行う																				
				日時環境側面点検表、環境関連施設日常点検表、日報による管理																				
2	省資源・省エネルギー	廃棄物搬入量に対する電気・ガス・水道・軽油の使用量の把握(CO2換算)	2	進捗管理														9月	12月	3月	6月			
				CO2排出量搬入量																				
3	再生商品の製造	有価物の売却率 前年度より1%UP	1	売却率 前年度比1%UP														9月	12月	3月	6月			
				管理台帳による管理																				
		売却物増量(年間1,200t以上をを目指す)	1	進捗管理														9月	12月	3月	6月			
				管理台帳による管理																				
4	廃棄物の削減	廃棄物処理リサイクル率74%(重量比)	1	廃棄物選別後のリサイクル率74%													9月	12月	3月	d				
				管理台帳による管理																				

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

文書番号	SE3001
調査年月日	2017年6月1日
調査者	栗原 隆

2016年度(2016年6月～2017年5月)において、法遵守確認表によるチェックの結果、
下表のとおり違反及び訴訟はありません。

自主的に検査した結果、過去5年間違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘も、過去5年間ございません。

NO	環境関連法規等	違反の有無	訴訟の有無	備考
1	特定家庭用機器再商品化法	無し	無し	
2	食品リサイクル法	無し	無し	
3	廃掃法	無し	無し	※
4	下水道法	無し	無し	
5	浄化槽法	無し	無し	
6	自動車Nox・PM法	無し	無し	※
7	毒劇法	無し	無し	
8	道路交通法	無し	無し	※
9	道路運送車両法	無し	無し	※
10	道路法	無し	無し	※
11	東京都条例	無し	無し	※
12	神奈川県条例	無し	無し	※
13	横浜市条例	無し	無し	※
14	川崎市条例	無し	無し	※
15	相模原市条例	無し	無し	※
16	厚木市条例	無し	無し	※
17	町田市条例	無し	無し	※
18	貨物自動車運送事業法	無し	無し	

※印は、当社は特に重視しております。

□代表者による全体評価と見直し結果

指摘月日	2017年8月10日(木)
指摘箇所	2016年度 環境活動計画及び実績について
指摘内容	各環境目標値に、今期実績が上回っている環境目標値に対して取組みは適切に実施されているかを確認・評価をし、見直しも含めて要検討。
是正内容	1. 今期、数値が上回っている主要業務項目 (1) 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO₂) ガソリン・軽油以外の電気・ガス目標値より各支社・部署とも未達となる結果となった。 その要因を検証すること。 (2) 総排水量の削減(m³) 節水の努力が、目標値より大幅に上回り未達となる結果となったことの検証。 (3) 廃棄物の削減(kg) 各支社・部署とも一般・産業廃棄物については、分別強化等により目標達成。
是正完了月日	2017年8月23日(水)
是正責任者	エコアクション21事務局 栗原 隆(総務部 業務管理課 係長)
代表者 確認・記入欄	確認しました。 今期、二酸化炭素排出量の削減が、ガソリン・軽油以外未達となった要因が検証されたようなので、次年度に活かしていくよう日々努力してください。次年度は愛川支社を含む本格的拡大として、しっかり取り組んでいただきたい。 2017年8月25日(金) 赤石 賢治